

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-502312(P2018-502312A)

【公表日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-003

【出願番号】特願2017-556770(P2017-556770)

【国際特許分類】

G 01 N 27/02 (2006.01)

G 01 N 27/22 (2006.01)

G 01 N 9/00 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/02 Z

G 01 N 27/22 C

G 01 N 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月11日(2018.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被試験材料(MUT)に対するセンサアレイの位置に関する変位データを取得し、前記変位データを参照変位データと比較して、前記センサアレイが前記MUTに対して参照距離にあるかどうかを判定し、

前記センサアレイが前記参照距離にあることを判定したことに応答して、前記センサアレイに電磁インピーダンス信号セットを前記MUTに送信するように命令し、

前記MUTからのリターン電磁インピーダンス信号を取得し、

前記送信された電磁インピーダンス信号セット、前記リターン電磁インピーダンス信号、および前記変位データに基づいて、前記MUTの少なくとも1つの物理的性質を計算する、

ことを含む、方法。

【請求項2】

車輌に取り付けるシステムであって、

前記車輌に結合するための少なくとも1つの取り付けアームと、

前記少なくとも1つの取り付けアームの一端に連結されたハウジングであって、

被試験材料(MUT)をサンプリングするためのセンサアレイと、

前記MUTに対する前記ハウジングの位置を検出するための変位センサと、

前記センサアレイと前記変位センサに連結された、少なくとも1つの計算処理デバイスと、

を備えるハウジングと、

前記少なくとも1つの取り付けアームに連結されて前記少なくとも1つの計算処理デバイスに通信し、前記少なくとも1つの取り付けアームを介して前記ハウジングの位置を変更するためのアクチュエータと、

を備え、

前記少なくとも1つの計算処理デバイスは、前記ハウジングの検出位置が参照距離から

偏位している場合に、前記ハウジングの位置調整のために前記アクチュエータの起動命令を提供するように構成されている、システム。

【請求項 3】

被試験材料（MUT）に対するセンサアレイの位置に関する変位データを取得し、前記MUTの中へ電磁インピーダンス信号セットを送信するように前記センサアレイに命令し、

前記MUTからのリターン電磁インピーダンス信号を取得し、前記送信された電磁インピーダンス信号セット、前記リターン電磁インピーダンス信号、および前記変位データに基づいて、前記MUTの少なくとも1つの物理的性質を計算する、

ことを含む、方法。

【請求項 4】

被試験材料（MUT）に対する非接触のセンサアレイの位置に関する変位データを取得し、

前記MUTの中へ電磁インピーダンス信号セットを送信するように前記センサアレイに命令し、

前記MUTからのリターン電磁インピーダンス信号を取得し、前記送信された電磁インピーダンス信号セット、前記リターン電磁インピーダンス信号、および前記変位データに基づいて、前記MUTの少なくとも1つの物理的性質を計算する、

ことを含む、方法。

【請求項 5】

車輪に取り付けるシステムであって、センサアレイを、MUTに対する参照距離で前記車輪に結合するための取り付け台と、表面および前記表面の下の表面下と通信するためのアレイ電極と、前記アレイ電極に動作可能に接続された信号発生器と、前記信号発生器と前記アレイ電極に動作可能に接続された少なくとも1つの計算処理デバイスであって、

前記アレイ電極から前記表面および前記表面下へ選択された周波数で電磁信号を送信するように前記信号発生器に命令し、

前記電磁信号を送信後に前記アレイ電極からのリターン信号を取得し、信号を組合せて、少なくとも1つの表面または表面下の物理特性を判定する、

ように構成された前記少なくとも1つの計算処理デバイスと、
を備える、システム。